

事業所名

一般社団法人つばさ 西那須野事業所

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

令和6年

9月

17日

法人(事業所)理念	①利用者一人ひとりが持っている生きる力と個性を尊重し、その利用者の成長にあった療育・支援をおこなうことを基本とします。 ②10年後・20年後に人として安定した輝きある人生が歩めるよう、様々な利用者同士の交流や出会いの体験を大切にします。 ③利用者が自信をもって日々成長していく姿が認められるような療育・支援を目指し、長期的な目標を掲げ、継続的な療育・支援に取り組みます。				
支援方針	*安心できる環境の中で、様々なことに楽しんで取り組み主体性のある子どもに育てます。 *子育ての悩みや成長の喜びを分かち合いながら保護者とともに歩みます。				
営業時間	8時	30分から	18時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	食事・排泄・衣服の着脱・身の回りの片づけ・荷物の管理など、利用児の発達段階に合わせてできることを増やせるよう支援します。 心身の健康状態を確認しながら生活リズムを整え、元気に活動できる心と体を育てていきます。			
	運動・感覚	生活動作・姿勢保持の向上のため、全身を使った遊び(散歩・マラソン・体操・バランスストーン・トランポリンなど)を十分行います。 視覚、聴覚、触覚等の感覚を使った遊びを十分に行い、感覚を整えながら興味や遊びの幅を広げていきます。			
	認知・行動	指差し、身振り、サイン、絵カードなどの視覚的情報や子どもが分かる言葉、肯定的な言葉をかけにより、「やってみたい」と興味を持ち、行動に繋がるよう支援します。 言葉の指示や場面に合わせて、自分で気づき行動ができるよう支援します。			
	言語 コミュニケーション	行動や身の回りのものに言葉を添え、言葉の理解や表出に繋がります。 言葉だけでなく、指差し、身振り、サイン、絵カードなど、相手に要求や気持ちを伝える方法を知り、人と楽しく交流できるよう支援します。			
	人間関係 社会性	ふれあい遊びや子供の興味のある遊びを大人と一緒に楽しく遊ぶことで、職員や友だちと一緒に遊ぶ楽しさ感じられるようにします。 遊びを通し、子ども同士のやりとりや友だちを意識し、関わる事ができるよう社会性の発達を支援します。			
家族支援	利用児の成長や発達に関する困りことや心配なことについて、個別に相談に応じ助言を行います。また、事業所での様子を伝え安心して利用していただけるようにします。	移行支援	年齢や子どもの発達などに合わせ、就園・就学を見据えた支援を行います。 就園・就学の際には、これまでの支援の経過や状況などを情報共有をし、引継ぎを行っていきます。		
地域支援・地域連携	保育園・幼稚園と併用で利用している場合は、互いに様子を見学し情報共有や共通の理解を図ることで、統一した支援ができるようにしていきます。 必要に応じて医療機関や保健師などの関係機関と情報共有を行っていきます。	職員の質の向上	日々の療育の中で、課題や気づきを共有し、改善に繋がっていきます。 事業所内外の研修に意欲的に参加したり、文献を読むなど、知識を高めます。		
主な行事等	散歩・永久歯等対象事業・七夕まつり・夏祭り・芋ほり・秋まつり・運動会・クリスマス会・節分・ひな祭り・修了式				